

1. 科目名 (単位数)	ソーシャルワーク I (4 単位)	3. 科目番号	SBMP2155
2. 授業担当教員	佐藤 惟		
4. 授業形態	講義、グループディスカッション・作業及び発表	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	社会福祉士の役割と意義、相談援助の概念と範囲、歴史、理念、権利擁護の実際、相談援助に係る専門職の概念と範囲及び倫理、ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義について学ぶとともに、実践現場で活用するためのソーシャルワークの方法・技術を身に付ける。		
8. 学習目標	<p>学生には下記の目標を達成することが期待される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士の役割（総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発含む）と意義について理解し説明できる。 ・相談援助の概念と範囲について理解し、説明できる。 ・相談援助の理念について理解し、説明できる。 ・相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解し、説明できる。 ・相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理について理解し、説明できる。 ・総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義の内容について理解し、説明できる。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	授業内で提示する3つのテーマの中から1つを選んでレポートを作成してもらう。 このほか、授業内で行われる3回の確認テストに取り組んでもらう。		
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】 社会福祉士養成講座編集委員会『新・社会福祉士養成講座 6 相談援助の基盤と専門職』第3版 中央法規出版, 2015年</p> <p>【参考書】 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。 東京福祉大学編『教職科目要説 (初等教育編)』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『教職科目要説 (中等教育編)』ミネルヴァ書房。</p>		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受講態度・参加姿勢 40% (全授業の3/4以上の出席が必要) 遅刻 (10分程度迄) は3回で1回休みとなる。 2. 筆記試験とレポート試験を行う。60% <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉士の役割 (総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発含む) と意義について理解し、説明できる。 2. 相談援助の概念と範囲について理解し、説明できる。 3. 相談援助の理念について理解し、説明できる。 4. 相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解し、説明できる。 5. 相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理について理解し、説明できる。 6. 総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義の内容について理解し、説明できる。 		
12. 受講生への メッセージ	ソーシャルワーク I はこれから社会福祉士・社会福祉の専門職になるために必要な理論習得の基礎となる科目です。そのため、授業への出席、熱意ある参加、ディスカッション・作業、レポート作成などへの積極的な取り組みを望みます。授業の進捗状況・理解度にあわせ、順番等を変更する場合があります。		
13. オフィスアワー	授業内 (初回授業) に通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション (シラバス、講義概要、成績評価についてなど)	事前学習	社会福祉士と精神保健福祉士の仕事内容や実践現場について調べる。
		事後学習	オリエンテーションの内容をまとめる。
第2回	社会福祉士の役割と意義	事前学習	教科書 pp. 2~7 を読む。
		事後学習	社会福祉士の役割についてまとめる。
第3回	相談援助専門職の概念①専門職の成立条件	事前学習	教科書 pp. 190~193 を読む。
		事後学習	「専門職」とは何かについてまとめる。
第4回	相談援助専門職の概念②ソーシャルワークの専門性、 職能団体について	事前学習	教科書 pp. 193~198 を読む。
		事後学習	職能団体の活動についてまとめる。
第5回	相談援助専門職の範囲①主要領域	事前学習	教科書 pp. 199~204 を読む。
		事後学習	社会福祉士が働く主要な現場についてまとめる。
第6回	相談援助専門職の範囲②関連領域、 諸外国の動向	事前学習	教科書 pp. 204~209 を読む。
		事後学習	社会福祉士の関連領域についてまとめる。
第7回	相談援助の概念と構成要素①ソーシャルワークの定義	事前学習	教科書 pp. 24~36 を読む。
		事後学習	ソーシャルワークのグローバル定義についてまとめる。
第8回	相談援助の概念と構成要素② ソーシャルワークの構成要素	事前学習	教科書 pp. 37~49 を読む。
		事後学習	ニーズと社会資源についてまとめる。
第9回	専門職の倫理①概念	事前学習	教科書 pp. 138~144 を読む。

		事後学習	専門職の倫理の重要性について復習する。
第10回	専門職の倫理②倫理綱領；確認テスト①	事前学習	教科書 pp. 145～149 を読む。
		事後学習	社会福祉士の倫理綱領をまとめる。
第11回	相談援助の形成過程①ソーシャルワークの源流	事前学習	教科書 pp. 52～60 を読む。
		事後学習	ソーシャルワークの源流についてまとめる。
第12回	相談援助の形成過程②ソーシャルワークの基礎確立期	事前学習	教科書 pp. 61～67 を読む。
		事後学習	ソーシャルワークの基礎確立期についてまとめる。
第13回	相談援助の形成過程③ソーシャルワークの発展期、 ソーシャルワークの展開期	事前学習	教科書 pp. 70～85 を読む。
		事後学習	ソーシャルワークの発展についてまとめる。
第14回	相談援助の形成過程④ソーシャルワークの統合化、 ジェネラリストソーシャルワーク	事前学習	教科書 pp. 86～91, 176～187 を読む。
		事後学習	ソーシャルワークの統合についてまとめる。
第15回	相談援助の理念①ソーシャルワーカーと価値	事前学習	教科書 pp. 94～106 を読む。
		事後学習	価値の重要性についてまとめる。
第16回	相談援助の理念②ソーシャルワーク実践と権利擁護	事前学習	教科書 pp. 107～120 を読む。
		事後学習	権利擁護についてまとめる。
第17回	相談援助の理念③クライアントの尊厳と自己決定① 自己決定	事前学習	教科書 pp. 122～124 を読む。
		事後学習	自己決定の概念についてまとめる。
第18回	相談援助の理念④クライアントの尊厳と自己決定② 自立支援	事前学習	教科書 pp. 125～128 を読む。
		事後学習	自立支援の概念についてまとめる。
第19回	相談援助の理念⑤ノーマライゼーションと社会的包摂① ノーマライゼーション	事前学習	教科書 pp. 129～133 を読む。
		事後学習	ノーマライゼーションについてまとめる。
第20回	相談援助の理念⑥ノーマライゼーションと社会的包摂② 社会的包摂；確認テスト②	事前学習	教科書 pp. 133～135 を読む。
		事後学習	社会的包摂についてまとめる。
第21回	現代社会と地域生活①現代社会とは、地域での生活	事前学習	教科書 pp. 8～15 を読む。
		事後学習	現代社会の特徴についてまとめる。
第22回	現代社会と地域生活②人々の生活とソーシャルワーカー	事前学習	教科書 pp. 15～22 を読む。
		事後学習	人々の生活とソーシャルワーカーの関わりについてまとめる。
第23回	専門職倫理とジレンマ①内容	事前学習	教科書 pp. 150～158 を読む。
		事後学習	倫理的ジレンマの種類についてまとめる。
第24回	専門職倫理とジレンマ②事例	事前学習	配布資料を読む。
		事後学習	事例から学んだことをまとめる。
第25回	総合的かつ包括的な相談援助の全体像	事前学習	教科書 pp. 160～174 を読む。
		事後学習	地域を基盤としたソーシャルワークについてまとめる。
第26回	総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能① 個と地域の一体的支援機能	事前学習	教科書 pp. 215～220 を読む。
		事後学習	事例から学んだことをまとめる。
第27回	総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能② 予防機能	事前学習	教科書 pp. 221～228 を読む。
		事後学習	事例から学んだことをまとめる。
第28回	総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能③ 新しいニーズへの対応機能；確認テスト③	事前学習	教科書 pp. 229～240 を読む。
		事後学習	事例から学んだことをまとめる。
第29回	社会福祉士の現場に関する理解：映像視聴	事前学習	社会福祉士の実践に関する配布資料を読む。
		事後学習	映像を視聴して学んだことをまとめる。
第30回	まとめ；レポート提出に関する説明	事前学習	レポート作成に必要な資料を集める。
		事後学習	レポートを作成して期限内に提出する。